



十一月十三日土曜日に、ひこね市文化プラザにて「はーとふる研修会」が開催されました。講師は七月に開催したお父さんも研修会に来ていただいたフリースクールでだのふあ代表の山下吉和さん。受付と入口付近に於てだのふあへの活動風景パネル展示も行い沢山の方に見ていただけました。

講演前には、平田こども園・旭森小学校・稲枝北小学校・彦根中学校の活動発表があり、他校園の活動を知ることができました。



第152号 彦根市
PTA連絡協議会
広報調査部

フリースクール てだのふあからのメッセージ ～ボクはボクでいいんだ～



誰かの小さな声に
耳を傾けよう



参加者の声

子どもの事をどれほど理解できますか？という言葉に、日々の忙しさに追われてという言い訳になってしまいましたが、自分の視野の狭さを感じました。

これから先、色々な問題があると思いますが寄り添う・理解する・わかち合うという気持ち忘れずにしたい。

最近まさに、我が子が学校へ行きたくないと言うことが増えてきました。咄嗟に「とりあえず行ってみよう。しんどかったら迎えにいくし」と学校へ行かせました。頑張った行った我が子のその時の気持ちを考えると：胸が苦しいです。「徹底して子どもの味方になる」「家が安心の居場所」「ありのままの我が子を確認する」：数々の言葉が胸に刺さりました。このような場面に直面した時、今回の研修で学んだ言葉を思い出し、ひとまず受け入れてみるころから始めたと思います。参加してよかった研修会でした。

自分の学生時代は不登校の子が学校に数人いるかいないかわからないのを感じたので学校に行くのが当たり前だと思っていました。もし自分の子どもが行きたくないと言いついても、きつと、きつと行きなさい！って言うていただろうな。この研修会に出席していなければ：普段

やいやい口やかましく言っているの、子どもの声に耳を傾けてあげていなかったと反省しました。



日本PTA全国研究大会 山形大会

2022.8.22(金)～8.27(土)



八月二十六日・二十七日と日本PTA全国研究大会が山形県で開催されました。彦根市からは一名のPTA会長が参加。とてもいい経験になったと仰っていました。今回のテーマは「人とひとのつながりを体感しよう！～あがらっしゃい精神の山形から～」。三年ぶりに多くの参加者が集まった会場では、人とひととのつながりを体感することの大切さを感じることができたと思います。

次期開催地は広島県。令和五年八月二十五・二十六日に開催が予定されています。



南中ブロック 救命救急講習会

七月二日(土)に南地区公民館にて南中ブロック活動として救命救急講習会が行われました。南中ブロックは城陽幼稚園・城南小学校・城陽小学校・若葉小学校・亀山小学校・南中学校の六校園で構成され、人数も大規模なため二回に分けて開催。二日は、城南小学校以外の受講希望者。



親子で参加されている方もおられ、AEDの使い方はもちろん



ん、意識のない方への声のかけ方や、周りの人へ声をかけて協力してもらうことなど、理解していてもいざという時はパニックになりがちです。周りの方にAEDを持ってきてもらう、救急車を呼んでももらう：等、お願いではなく、指示しないと人は動きにくいと救命士さん。皆さん真剣な眼差しで聞いておられ、参加してよかった。子どもと一緒に学べてよかった。の声が多かった。



令和4年度子育て体験作文 ひびきあい

今年度より子育て体験文集は体験作文として彦Pだよりに掲載することになりました。作文と共にこども園・幼稚園・小学生に【イラスト】、中学生には【中学生のホンネ川柳】・保護者に【子育て川柳】を募集しました。作品の一部を掲載させていただきます。

玉子の私が思うこと

東中学校PTA

鈴木 朱里

私には、のび太くん気質の二の長男とジャイアン&出木杉くんハイブリットタイプの小五の次男がいます。のび太くん気質の長男は、小学校の頃から、玉子（のび太くんママ）の私の頭では理解できないようなことばかりで、悩む日が多くありました。何度説明してもできない

ことも多く、「なんでできないんだろう」という思いでいらだちを隠せない時もありました。ですの、発達障がいがあると伝えられた時は、ショックというよりも今までのことが全て納得できスッカリとしたような心持ちになりました。

世界にはいろんな人がいます。健康な人もいれば、重い病気を抱えている人、身体の不自由な人、心と身体の性に差がある人……。でも、どれ一つとして引け目を感じることなんてないのです。その人の特性であって、その人はその人なのだから。

長男にも、発達障がいについて話をしました。自分のもつ特性について、そして、これからその特性を起因とするトラブルがあるかもしれない、でも、その一つ一つについて心を込めて丁寧に乗越えていくことが大切ではないかという思いを伝えました。

今も、学習面や生活面で課題は沢山あり、私自身もその支援方法について模索の日々です。でも、ひとつ学んだことは『普通』という枠で捉えないこと。『普通』の枠に当てはめて見してしまうと、どうしてもできない

ことに目がいつてしまします。その子自身の姿をしつかり見つめ、できたことを見つけて、褒めてあげること。『普通』では当たり前のことかもしれないけれど、その子にとつたら、自信につながる大切な一歩なのかもしれない。

『小さなできた』を見つけて、それは難しいかもしれないけれど、その子オリジナルの人生を創っていくような親として、その子のできたこと、できた喜びを見つけてあげられるよう、より一歩目を凝らして見つめていきたいと思っています。

世界には、いろんな人がいます。もしかしたら『普通』なんてないのかもしれない。お互いの違いを認め、支え合うことで誰もが生きやすい世界につながっていくのだと思います。子ども達がそんな世界に羽ばたいていけるよう親として支援していけたらと思います。

神様は一人一人の子どもにあつた両親を選び、導いてくださるそうです。私達は、その子の父、母として、『選ばれし者』なのです。子どもにとって、この支援は適切なのかと悩むことも多くありますが、その言葉を大

切に、誇りと責任をもって進んでいきたいと思っています。

この世界に生まれてきてくれてありがとう。

私達を選んでくれてありがとう。

十一月にタイに引越します。

子ども達もそれぞれ不安はあると思いますが、異国の地で頑張る夫を家族皆で支えられたらと思います。これまで、子どもの成長と共にたくさんの素敵な出会いがありました。日本でお世話になった全ての方に感謝致しますとともに、皆様のご多幸をお祈りしています。サワデーカ!!



城南小学校
小森 羽花



平田小学校
道田 優那



鳥居本小学校
西村 琉彩

私の子育て

稲枝東幼稚園PTA

匿名

私の子育ては、感心することの連続でした。うちの子は成長もゆつくりで、多分とても手のかかる子どもです。それでも、産まれてから今まで常にすごい！がんばった！と思うことが、大変だったことよりも多かった気がします。

初めは産まれてから誰にも教わらないのに、乳首が切れるくらい強い力で母乳を飲む姿。可愛さよりも、その生物としての力強さに感動したものです。育児書に載っているような成長の過程を、ゆつくりながらも確実に歩んでいく姿に、親は本当にただ見守る存在であればいいのだと、今になれば思います。

もちろん心配することもあります。コミュニケーションが苦手だったり、泣き虫で、走るのも苦手。だけど、早く走れるようになりたい、どうしてお友達にダメって言われるんだらう...と落ち込むことも出てきました。それまでただ自分の世界だけだった子どもの中で、新しい世界

が広がり始め、躓いたり落ち込んだりしているのだと思うと、それもまた成長であり、きっとこの子なりの速度で乗り越えて行けると信じています。そのサポートをできるかぎり、してあげたい。

私は決して人格者ではないし、頭が良くも、友達が多くもありません。他の子どもの扱いも未だにわかりません。それでも子どもにはいつでもなんでも相談できる存在でありたいと思っています。自分のことをお父さんお母さんは大好きだと思っていると子どもが心から感じられる親でありたいと思っています。



城西小学校
王 きよひこ



城陽小学校
藤岡 和恩



城北小学校
高橋 侑大



城北幼稚園
森本 愛由



城西小学校
北村 悠真



河瀬小学校
栗田 理玖

「いただきます」と
「ごちそうさま」

西中学校PTA

匿名

「うちはみんな『ごちそうさま』をいってないよ。」

あるとき娘に言われました。どうやら、数日間の食事後の家族の様子をみていて気づいたようです。突然言われ驚きましたが、よく考えると確かにそうだなと気づかされました。

我が家は共働きのため、平日に家族全員がそろって過ごす時間をたくさんつくることは難しいです。朝夕の食事の時間が大切な家族の時間になっています。しかし、大切な時間を過ごしていると思っていました。食事後のことに追われ、バタバタと食事をし、バラバラとそれぞれが食事を終えていることに「ごちそうさま」がないことで気づきました。

それから、「いただきます」だけでなく「ごちそうさま」を忘れずに言うように家族みんなが気をつけました。小さなことかもしれませんが、「いただきます」「ごちそうさま」をみんな

言うだけで、大切な時間を過ごしていることを改めて実感することができました。

近年のコロナ禍で、なかなか外出して遊ぶことができなくなっている今、家でみんなでそろっておいしいものを食べることに、我が家の楽しみの時間になっています。一つのテーブルをみんなで囲んで、おいしいものを食べられる家族の時間をこれからも大事にしていきたいです。もちろん、「いただきます」「ごちそうさま」を忘れずに。



コロナ禍での

子育てに思うこと

高宮小学校PTA

匿名

私には小学三年生の娘と幼稚園年長の息子がいます。コロナ禍で生活が激変し、今まで普通にしてきたことを改めなくてはならない事態となった二年前、娘は小学校に、息子は幼稚園に入学入園しました。感染症予防の為に大事なことです、小学校の授業中や休み時間はずっとマスクを着用して過ごす子供たちには、不自由なこともあると思います。

私の小学校生活の思い出を振り返ってみても、マスクをしている友達はいませんでした、娘や息子の学校生活の思い出にはマスク姿の友達ばかりが出てくるようになるのかなと少し残念に思います。そんな中でも、勉強はもちろんのこと、習い事や遊びも一生懸命に取り組む娘や息子の姿を見て、とても頼もしく感じています。こうして普通に生活できている事、我が子が学校や幼稚園で先生や友人と毎日会える、そんな今までは

たり前だったことに感謝するようになった事は、コロナ禍においてとても大きな学びであると思っています。

娘や息子には、日々変わりゆく世の中にも悲観的にならず、制限がある中でも前向きに、できることは積極的に、日常の小さなことにも喜びや楽しみを見つけられるような、強くて優しい子に育ってほしいと願っています。



稲枝東幼稚園
奥野 将



城北小学校
八若 慎之輔

子どもと過ごす日々

城北幼稚園PTA

匿名

最初に、この原稿を受けたのはいいけれども、いざ面と向かって紙に向かうとなんにも思いつかばない...という日々が続いたので、夏休みまでに日々思ったことをメモしてこの原稿を自分の夏休みの宿題にしようとおもった。

ことを書いてみると、改めて自分の子どもの宿題を見ている自分に対してつくづく「偉そうやな」って思う。漢字も思い浮かばない、文章もおかしい、字の書き順なんてあつてる物の方が少ないだろう。家族で見ている沖縄の番組では「西表島」のことを「にしおもてじま」と呼んでいた。夫には盛大につっこまれたが、「育児疲れで頭やられてるわ!」と、言い訳をしておいた。昔は好きで沖縄に行っていたのに何も身につけていないとはこのことやなど、同時に思った。

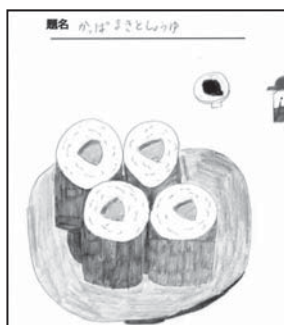
そんな自分は今、子どもと一緒にもう一度学んでいる。勉強もそうだが、自分が子育てをスタートしたことで自分の人生を二巡目している感覚になること

がある。こうやって宿題をやってみると今は難易度レベル★でやっていて楽しいけれど、高学年絶対わけわからなくなってくるだろうなと今から目に見えている。勉強嫌いだった私が子どもにも勉強を教えているってだけで笑えてくる。そして子どもが嫌いな授業は私も大体嫌いだった。その気持ちめっちゃめっちゃわかる!!

それに、日々の子育ては自身の修行じゃないかと思っている。自分が子育てしているつもりでも、子どもに逆に教えてもらうことの方が多いし親育てしてもらっている気がする。親が子どもに口出しをせず見守ることはとても根気がいることだし、今これ親のレベル上げてもらっているわ...って場面も度々出てきた。

子どもが赤ちゃんの時は「元気でいてくれればそれでいいわあ。」から、成長するたび求めるものが増えてきてからの初心に返るを繰り返しているこんな親ですが、一応自分が生きてきた中で今が一番楽しいです。色々あるけど充実してるなって思うし、逆に子育てしている今のほうがやりたいことも増えた。そんな風に想える日々感謝しています。

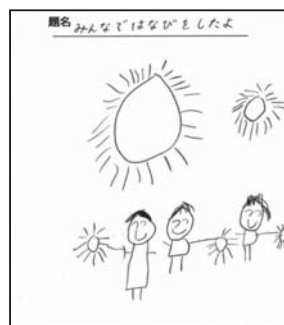
改めて、私を親にしてくれて家族になってくれてありがとう。



城西小学校
三浦 七美



若葉小学校
松澤 秀磨



佐和山幼稚園
藤本 佑利



言葉の力

城西小学校PTA

匿名

「行つてきまーす!」「行つてらっしゃいー!」気をつけてな!」我が家の子ども達との朝のやり取りです。

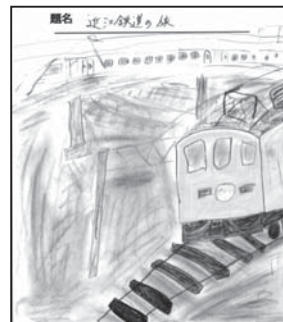
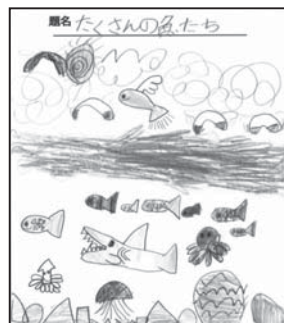
一見、普通のやり取りに思えるかもしれませんが、「気をつけて」と言う言葉には不思議な力があるようで、「気をつけて」と声を掛けて送り出された人の方が事故率が低いというデータがあり、声を掛けられた人は「気をつけよう」という意識が自然に高まるらしいのです。これは以前、テレビかネットの記事で見たのですが、それを知って以降、私は子どもたちを送る時には意識して「気をつけて」と声を掛けるようにしています。

旭森小学校
松宮 陽菜

しかし、子どもが朝起きるのが遅かったりして時間と心の余裕がない時には声を掛けられない日がたまにあります。そういう日は大抵怒りながらバタバタと送り出してしまうので、子どもも朝からテンションが下がりがちで学校に向かうことになりません。いつも送り出してからトボトボと歩く子どもの姿を想像して申し訳ない気持ちでいっぱいになり、登下校大丈夫だろうかと何となくモヤモヤした気持ちになります。

ニュースで登下校中の児童の列に車が突っ込む事故などを見ると、もしこれが我が子だったら...と思うとたまらなくなります。事故はいつ、誰におきてもおかしくない...そんなことを考えると気休めかもしれませんが「気をつけてね」という言葉の力に頼りたくなります。

イラッとした時は中々感情のコントロールが難しいですが、お互いが朝から気持ちの良いスタートができるように、子どもが無事に帰宅できるように、見送る時は気持ちを切り替えて笑顔で「気をつけてね」と言えるようにしたいです。

城北小学校
高橋 侑大城北小学校
八若 雅飛佐和山小学校
若林 優継人旭森小学校
一色 いこい佐和山小学校
野口 蒼翔

たくさんの応募
ありがとうございました



ご応募いただいたイラスト・川柳は
全作品、ビバシティ彦根さんでも

展示させていただきます。

是非、ご覧ください♪



東中学校三年

悪い癖

母にそっくり

父が言う

かわず

中央中学校二年

Monacrash

帰宅すぐ

親に言われて

足洗う…

東中学校三年

呼び出され

また怒られると

早とちり

おさむちゃん

中学生の本音川柳 ひびきあい特別賞 子育て川柳



佐和山小学校PTA

ちんねんのママ

反抗期

何を言っても

無視される

金城小学校PTA

匿名希望

手をつなご

昔よろこび

今は拒否

旭森小学校PTA

まう

叱らない

決めた翌朝

また叱る

第51回 彦根市PTA大会70周年事業 ～彦Pフェス～

令和5年 1月 21日 (土) 9:40～15:00

ひこね市文化プラザ グランドホール

第1部

9:40～11:00

9:00～受付

9:15～

受 付

(参加票をご持参ください♪)

滋賀県吹奏楽コンクール

9:40～



アトラクション

(中央中学校 吹奏楽部)



中学校小編成の部

金賞受賞

10:00～10:50

大 会 式 典

10:50～11:00

子育て体験作文朗読

ギャラリー・ロビー展示



当日は参加票が必要になります。大会パンフレットに同封してあります参加票をご記入の上ご持参ください。

また、参加票をお忘れの場合は受付までお声掛けください。

第2部は一般受付もございます♪

今回開催の【カエコ

ト】は、学校必需品

(制服・体操服)の

みの譲渡会と

なります。



ギャラリーでは、応募いただいたイラスト・川柳の全作品の展示をします。
ロビーでは市内子育て関係団体の活動展示や、制服・体操服等のリユースイベント【カエコト】も実施されます。
大会開催時間内であれば自由に見ていただけます。

～彦Pフェス～

第2部

12:30～

受付

13:00～14:30

特別講演

13:30～15:00

13:00～受付

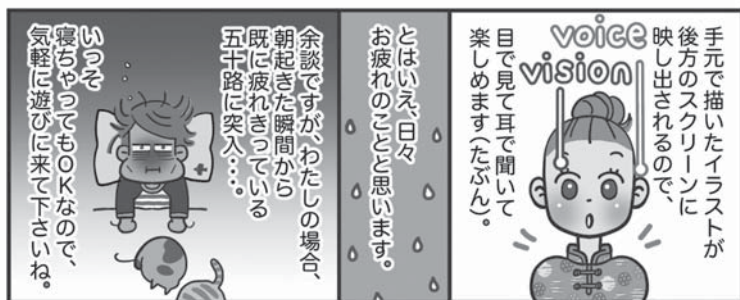
【子は育ち、親も育つ。

みんなで楽しまなくっちゃもったいない！】

講師：高野 優（たかの ゆう）氏



育児漫画家・イラストレーター



14:30～15:15 今こそ知ろう！AED講習



講師：島本 大也（しまもと ともなり）氏

京都大学 予防医療学教室 特定助教



いつ、どこで、だれに起きるか分からない

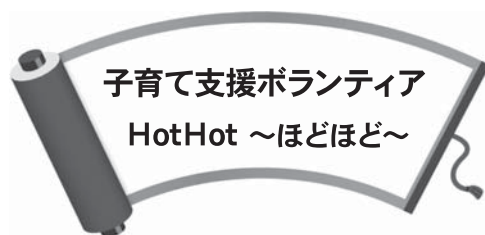
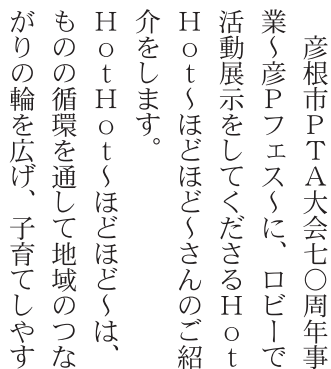
突然の心停止…

いざという時に、皆さんは一步を踏み出すことができますか？資格や年齢に関わらず、救命のためにできることはたくさんあります。心肺蘇生とAEDについての正しい知識を楽しく学びましょう！

協力：NPOおうみ救命プロジェクト

15:15

閉 会



い街づくりに取り組んでいるボランティア団体です。

彦根市内の学校やアルプラザ彦根・パリヤにリユースポストを設置し、寄付された服のクリーニング等を行い譲渡会【力エクト】を開催されています。

力エクト以外にも、リユース品の常設会場「HODHOD七曲り」や、一人暮らしの大学生や必要な子どもへお弁当の配布を行う「ホツと♡Hott弁当」。

中地区公民館で「ホドホド食堂」など幅広い活動をされています。

広報調査部員一同

●あとかぎ●

各単位PTAの皆様・地域の皆様にご協力いただき第一五二号を発行することができました。ひびきあい作文をご寄稿いただきました皆様、イラスト・川柳にご応募いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

二〇二二年もあとわずかになりました。来年も皆様にとって良い年となりますように。

カイロプラクティック 有



杉江 すみこ

090-6203-5016

河瀬駅から車で5分
↓LINEアカウント



子どもたちに確かな学力を！
教材品販売一筋に70余年

(株)西村教材

彦根市古沢町710-52
TEL 0749-22-2137
FAX 0749-26-2953